

第Ⅰ期コレクション展

2025年3月22日(土) - 6月29日(日)

〈主な展示内容〉

- land-landscape 風景の表象
保田春彦《季節の残像》、若林奮《Landscape I、II》ほか
- 「福島の新世代」を振り返る
安部直人、玉川信一、高橋幸彦、高橋克之ほか
- 追悼・田口安男
- 新収蔵・福島の美術家たち①
- 海外作品
ルオー《超人》《ミセレーレ》、ワイエス《そよ風》ほか
- 創作版画と斎藤清

「トークフリーデー」のご案内

この日はおしゃべりOK!
小さなお子さんや、高齢の方、障がいのある方など、
どなたも声の大きさを気にせず、ご家族やご友人と一
緒に作品の感想を話しながらお気軽に鑑賞をお楽し
みください。
(なお、普段の会話を制限するものではありません。)

【実施日】 5月5日(月・祝)、9月15日(月・祝)、
11月3日(月・祝)
※コレクション展、企画展ともに実施

「こどもミュージアムツアー」のご案内

美術館ってどんなところ?何があるのかな?一緒に探
検し、最後に記念バッジを作って持ち帰ろう!
日時: 5月5日(月・祝)10時~10時40分頃
対象: 親子向け(5才~小学生程度のお子さんと保護
者)
参加費: 無料
定員: 5組程度
申し込み締め切り: 5月1日(木)

開館スケジュール (○印=休館日)

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	⑦	8	9	10	11	12
13	⑭	15	16	17	18	19
20	⑳	22	23	24	25	26
27	28	29	③①			

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	⑦	8	9	10
11	⑫	13	14	15	16	17
18	⑲	20	21	22	23	24
25	⑳	27	28	29	30	31

利用案内

開館時間 9時30分 - 17時(最終入館は16時30分)

休館日 月曜日(祝祭日の場合は開館し、翌平日休館)／祝祭日の翌
日／年未年始(12月28日~1月4日)

観覧料 **一般・大学生360円(20名以上の団体は280円)、高校生以下
無料 ※2025年4月1日から料金改定となります。**※企画展
観覧料は展示により異なります。〈企画展〉欄をご覧ください。
※企画展料金で常設展もご覧いただけます。
※こどもの日、県民の日(8/21)、敬老の日、文化の日は常設
展が無料になります。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を
お持ちの方は、常設展・企画展ともに無料です。(手帳をご
提示ください)付き添いの方1名も無料となります。

交通案内

〈JR福島駅・東口より〉

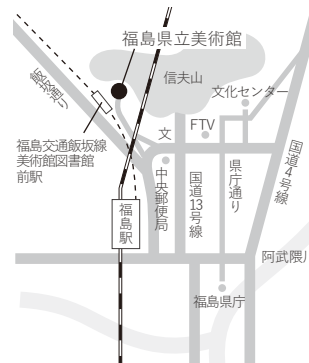
■電車 福島交通飯坂線「美術館
図書館前駅」下車徒歩2分

■バス 9番乗場より福島交通バ
ス／市内循環もりん2
コース「県立美術館入口」
下車徒歩3分

■タクシー 約5分

〈自家用車の場合〉

東北自動車道・福島飯坂ICより市
街地方向へ約15分



福島県立美術館

〒960-8003
福島市森合字西養山1番地
TEL 024-531-5511
FAX 024-531-0447
<https://art-museum.fcs.ed.jp>



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

MUSEUM NEWS

福島県立美術館

FUKUSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

開催中 企画展示

「THE 新版画
版元・渡邊庄三郎の挑戦」

2025年3月22日(土) - 5月25日(日)



川瀬巴水《東京十二題 春のあたご山》1921年 渡邊木版美術画舗蔵

THE 新版画 版元・渡邊庄三郎の挑戦

2025年3月22日(土) - 5月25日(日)

渡邊庄三郎(1885-1962)は、17歳にして横浜にあった浮世絵商の輸出の店に勤め、そこで出会った浮世絵の、とりわけバレンで摺る木版画特有の美しさに魅了されると、自ら版元となって独立し、浮世絵研究と販売を行うかたわら、来日した外国人画家の作品を版画化するなど新たな試みを行いました。そうした経験をもとに、伊東深水や川瀬巴水など鐫木清方門下の新進気鋭の画家たちとともに、江戸時代に確立された絵師、彫師、摺師の協業体制を踏襲しつつも、高品質な材料を用いて、幾度も摺りを重ね、「ざら摺り」という手摺りならではの技法を取り入れた、それまでに無い「新版画」を創始して世に送りました。新版画は昭和の初めごろまで国内外で高い人気を誇り、近年再注目を集めています。

本展覧会では、渡邊木版美術画舗の全面的なご協力のもと、残存数が少ない貴重な初摺の渡邊版約180点をとおして、渡邊庄三郎の挑戦の軌跡をたどりながら、今なおモダンで瑞々しい新版画の魅力をご紹介します。

休館日：毎週月曜日（4月28日、5月5日は開館）、4月30日（水）、5月7日（水）
観覧料：一般・大学生 1,000 (800) 円／高校生 600 (500) 円／小・中学生 400 (300) 円 ※（ ）内は20名以上の団体料金

〈関連イベント〉

スペシャル・ギャラリートーク | 渡邊木版美術画舗代表取締役・渡邊章一郎氏による作品解説
日時：4月19日（土）14時～15時
会場：企画展示室 ※申込不要、要企画展観覧券

新版画の摺りの実演 | 渡邊版画店専属摺師・渡辺英次氏による摺りの実演、渡邊木版美術画舗代表取締役・渡邊章一郎氏による実況解説付き
日時：4月20日（日）13時30分～15時
会場：エントランスホール※申込不要、聴講無料、先着順

新版画寄席 | 会津若松市出身の真打落語家・三遊亭兼好師匠による落語会
日時：4月27日（日）14時～15時30分 途中休憩あり
会場：当館講堂

落語家：三遊亭兼好
※申込不要、聴講無料、先着順・定員 250 名

ギャラリートーク | 担当学芸員による作品解説
日時：5月3日（土・祝）13時30分～14時30分
会場：企画展示室 ※申込不要、要企画展観覧券

特別講演会 | 担当学芸員による特別講演会、展覧会の企画から新版画の魅力まで
日時：5月18日（日）13時30分～15時
会場：当館講堂
講師：月本寿彦（当館学芸員）
※申込不要、聴講無料、先着順・定員 250 名

★着物で新版画
会期中、着物で企画展を観覧する方に特別グッズを差し上げます（無くなり次第終了）。企画展示室受付にてお申し出ください。

次回開催予告 企画展示

福島アートアニュアル 2025 site——representation 土田翔／鈴木悠哉

2025年6月7日(土) - 29日(日)

「福島アートアニュアル」は福島県出身・ゆかりの若手作家を紹介するシリーズ企画です。第4回目となる今回は、土田翔(1997年生／福島市出身)と鈴木悠哉(1983年生／福島市出身)を取り上げます。土田は、日本画家・小松均の「直写」の芸術理論をフィールドワークによる制作手法に拡張し、身体と対象の同化を試みた独自の日本画を制作しています。一方の鈴木は、都市に見出した形態や構造を抽象化した何枚ものドローイングを起点に立体や映像を展開する手法で制作を行い、都市の景観を記号の集積として表現します。本展では異なるアプローチをとる二人の表現を通して、現代における場所を表象することの可能性を考えます。

休館日：毎週月曜日
観覧料：一般・大学生 400 (300) 円／高校生 200 (100) 円／小・中学生 100 (50) 円 ※（ ）内は20名以上の団体料金



土田翔《堆木遡源》2020年



鈴木悠哉《Reversible Garden》2024年

◆アートアニュアル2025関連創作プログラム◆

【土田翔 創作プログラム】

①「体験!!直写（じきしゃ）」

体全体で自然を感じて描く写生方法「直写」を体験します。描く道具も美術館の庭園を散策して、自然の中から探して自分で作ります。目で見ただけではなく、においをかぎ、音を聞き、体全体で感じたことを和紙に表していきます。 ※屋外で活動します。少雨決行、荒天中止。

日時：5月3日（土・祝） 10時～15時頃 ※お昼休憩 1時間をはさみます／対象：小学生から大人まで 12名 ※小学校低学年以下は保護者同伴／会場：美術館実習室、庭園／材料費：300円／応募締切日：4月26日（日） ※先着順

【鈴木悠哉 創作プログラム】

※参加者の作品は、「福島アートアニュアル 2025」で鈴木さんの作品とコラボレーションして展示される場合があります。

②「コレクティブ・ドローイング」

点だけ、線だけ、などの誰にでもできる方法で手を動かします。みんなで描いた絵を集めて並べた時にどう見えるでしょうか。鈴木さんのドローイングの手法を体験します。

日程：5月10日（土）13時～16時頃／会場：美術館実習室／対象：小学生から大人まで12名 ※小学校低学年は保護者同伴／材料費：300円／応募締切日：5月3日（土） ※先着順

③「〈状況彫刻〉をつくろう」

街中を散策して、街の中にあたりまえにあるもの、でもよく見ると面白いものを見つけて「彫刻」に見立ててみましょう。見立てた作品は写真に撮ります。 ※街中を散策します。少雨決行、荒天中止。

日時：5月11日（日）10時～16時頃 ※お昼休憩をはさみます／対象：小学生から大人まで 10名 ※小学校中学年以下は保護者同伴／会場：美術実習室・庭園、美術館の周辺の街中／材料費：300円／応募締切日：5月3日（土） ※先着順

④「バイブレーション・ドローイング」

線を引く。誰かが引いた線に合わせてまた線を引く。シンプルで誰にでもできる行為を重ねてできたものが作品になっていきます。会期中はいつでも誰でも参加できます。

日時：5月10日(土)・11日(日) 9時30分～17時／会場：美術館エントランスホール／申込不要